

あいちビジョン 2030
2024 年度版年次レポート

あいちビジョン2030 2024ー2026実施計画

2024 年 9 月

はじめに

愛知県では、リニア中央新幹線が全線開業し、日本中央回廊の形成が期待される 2040 年頃を展望し、2030 年度までに重点的に取り組むべき政策の方向性を示す、「あいちビジョン 2030」を 2020 年 11 月に策定しました。

このビジョンの的確な推進を図るため、2021 年度には、ビジョン前期にあたる 2021 年度から 2023 年度までの 3 か年の実施計画を作成し、ビジョンで示した 10 の重要政策の方向性に対応する具体的な施策を着実に進めてまいりました。

この間、それぞれの取組は、世界中で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症等の影響を受けながらも、社会経済活動の正常化が進む中で、ビジョンで示した方向性に沿って、概ね順調に進んできているものと考えております。

一方で、私たちを取り巻く環境の変化は激しく、少子化の加速や人手不足の更なる深刻化、デジタル化の一層の進展など、ビジョン策定時とは異なる状況も出てきています。

また、2024 年 3 月にジブリパーク全 5 エリアが開園し、10 月には日本最大のスタートアップ支援拠点「STATION Ai」がオープンします。さらに、2026 年にはアジア最大のスポーツの祭典であるアジア競技大会・アジアパラ競技大会が開催されるなど、数多くのビッグプロジェクトが進展しています。

このような状況変化から新たに顕在化した政策課題や各プロジェクトの進捗等も踏まえつつ、このたび、ビジョン中期にあたる 2024 年度から 2026 年度までの 3 か年の取組・施策の工程について、県民の皆様に分かりやすくお示しする「2024 - 2026 実施計画」を作成しました。

引き続き、ビジョンで示した 4 つの姿、「危機に強い愛知」、「すべての人が生涯輝き、活躍できる愛知」、「イノベーションを創出する愛知」、「世界から選ばれる魅力的な愛知」の実現に向け、ビジョンの着実な推進に努めてまいりますので、県民の皆様を始め、関係の方々の一層の御理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

2024 年 9 月



愛知県知事
大村秀章

目 次

年次レポートの作成趣旨

I ビジョン中期の取組方向

ビジョン策定後の社会経済情勢の変化と新たな政策課題	2
ビジョン中期3年間の主な取組方向	10
基本目標の達成に向けて	18

II 重要政策の方向性に沿った主要政策の実施計画

重要政策の方向性① 危機に強い安全・安心な地域づくり

1-1 新たな大規模感染症リスク等への対応	20
1-2 ハード・ソフト両面からの防災・減災対策	22
1-3 安心して暮らせる地域づくり	30

重要政策の方向性② 次代を創る人づくり

2-1 創造性を伸ばす教育の推進	34
2-2 多様性を尊重する教育の推進	38
2-3 グローバル人材の育成	42
2-4 魅力ある学校づくり	44

重要政策の方向性③ すべての人が生涯にわたって活躍できる社会づくり

3-1 女性の活躍促進	48
3-2 高齢者の社会参加の促進	52
3-3 若者や就職氷河期世代などへの支援	54
3-4 障害のある人の活躍支援	56
3-5 外国人県民の活躍促進	60
3-6 人生100年時代の学び直し	62
3-7 健康長寿	64

重要政策の方向性④ 安心と支え合いの社会づくり

4-1 出会いから結婚、妊娠・出産、子育てまで切れ目のない支援	66
4-2 地域包括ケアシステムの構築支援	70
4-3 障害のある人の地域生活と医療・療育の支援	74
4-4 外国人県民の生活支援	76
4-5 安心できる医療体制の構築	78
4-6 困難を抱える女性・子ども・若者などへの支援	82

重要政策の方向性⑤ 豊かな時間を生み出す働き方が可能な社会づくり

5-1 新技術を活用した効率的な働き方の促進	88
5-2 多様で柔軟な働き方の促進	90
5-3 ワーク・ライフ・バランスの更なる普及拡大	92

重要政策の方向性⑥ イノベーションを巻き起こす力強い産業づくり	
6-1 STATION Ai を中核とした国際的なイノベーション創出拠点の形成	96
6-2 次世代産業の振興	100
6-3 中小・小規模企業の持続的発展と生産性の向上	106
6-4 産業人材の育成・確保	110
6-5 スマート農林水産業等による生産力の強化	114
6-6 県産農林水産物の需要拡大	118
重要政策の方向性⑦ 世界とつながるグローバルネットワークづくり	
7-1 Aichi Sky Expo の活用などによるMICEの誘致・開催と国際観光都市の実現	122
7-2 アジア・アジアパラ競技大会を活用した戦略的なネットワークづくり	124
7-3 グローバル市場の更なる獲得と海外からの投資促進	126
7-4 海外からの人材獲得	128
7-5 海外とのパートナーシップの構築	130
重要政策の方向性⑧ 日本中央回廊の中心を担う大都市圏づくり	
8-1 中京大都市圏の拠点性の向上	132
8-2 交流圏の拡大に向けた戦略的広域連携	142
8-3 持続可能でスマートな地域づくり	144
重要政策の方向性⑨ 選ばれる魅力的な地域づくり	
9-1 ジブリパークを活用した圏域全体のプロモーションの展開	148
9-2 世界に向け創造・発信する文化芸術の振興	150
9-3 アジア・アジアパラ競技大会始め国内外から注目されるスポーツ大会の開催	152
9-4 愛知ならではの観光の推進	154
9-5 観光交流拠点としての機能強化、人材育成	156
9-6 居住地として選ばれる魅力の創造・発信	158
重要政策の方向性⑩ 持続可能な地域づくり	
10-1 脱炭素社会を見据えた地球温暖化対策の推進	162
10-2 人と自然との共生の実現	166
10-3 循環型社会づくり	168
10-4 持続可能な社会を支える人づくり	172
重要政策の方向性に位置付けた進捗管理指標の2026年頃の進捗目標	174
Ⅲ 地域別の主要政策の実施計画	
尾張地域	178
西三河地域	194
東三河地域	208
用語解説	221

年次レポートの作成趣旨

作成趣旨

- 本県では、リニア中央新幹線が全線開業し、日本中央回廊の形成が期待される 2040 年頃を展望し、2030 年度までに重点的に取り組むべき政策の方向性を示す、「あいちビジョン 2030」を、2020 年 11 月に策定した。
- 「あいちビジョン 2030」の推進に当たっては、毎年度、年次レポートを作成し、ビジョンに示されている政策の進捗状況や新たに取り組むべき課題の把握など、ビジョンの更なる充実を図っていくとともに、社会経済の変化に応じたビジョンの点検、見直しなどを行っていくこととしている。
- ビジョン推進中期の初年度となる 2024 年度は、2023 年度のフォローアップ会議での提言を踏まえつつ、ビジョン中期に取り組むべき政策課題を整理し、2024 年度から 2026 年度までの 3 か年の県の取組工程を示す実施計画を、年次レポートとして作成する。

構成

- この年次レポートは、以下の 3 章で構成している。

I ビジョン中期の取組方向

ビジョン策定後の社会経済情勢の変化や新たに顕在化した政策課題を整理しつつ、「危機に強い愛知」や「すべての人が生涯輝き、活躍できる愛知」を始め、ビジョンで示しためざすべき愛知の姿の実現に向け、中期の取組の視点や主な取組方向、2030 年度の基本目標の達成に向け設定した進捗管理指標の 2026 年頃の進捗目標などを明らかにする。

II 重要政策の方向性に沿った主要政策の実施計画

ビジョンで示した 10 の重要政策の方向性に沿った 47 の主要政策の次の事項を明らかにする。

- ・ 3 か年の取組方向
- ・ 具体的な取組・施策と実施計画
- ・ 政策に関連するコラムや取組・施策の展開イメージ図
- ・ 進捗管理指標の 2026 年頃の進捗目標 など

III 地域別の主要政策の実施計画

ビジョンで示した尾張、西三河、東三河の 3 地域別の主要政策について、3 か年の具体的な取組・施策とその実施計画を明らかにする。